平成２１年度実施　「全国学力・学習状況調査」（第６学年）結果分析表　　４１石神井台小学校

教科	学習指導要領の領域等の結果の分析	観点別結果の分析	内容別・観点別のクロス分析
国語	話すこと・聞くこと ・全体に正答率も高く概ね良好である。 書くこと ・全体的に高い正答率であり、全国・都を上回っている。 読むこと ・全体的に高い正答率であり、全国・都を上回っている。 言語事項 ・ほぼ都平均並みである。	【話す・聞く能力】 ・ほぼ都平均並みである。 ・自分の立場や意図を明確にして話し合うことについて、理解が不十分である。 【書く能力】 ・「書く能力」についての設問については、９０％の高い正答率で、ほぼ全般的に全国・都の平均を上回っている。 ・文章の内容に合わせて小見出しを書くについては、９０％の高い正答率で、ほぼ全般的に全国・都の平均を上回っている。 ・必要な事柄を整理する、目的や意図に応じて事象や意見を関係付けながら書くについては、全国・都の平均は上回っているものの、２０％前後の正答率であり、理解が不十分である。 【読む能力】 ・文学的な文章の表現の工夫、段落の内容を的確にとらえるでは、都の平均を上回っている。 【言語についての知識・理解・技能】 ・漢字を読む、漢字を書くについては、ほとんどの項目で全国・都平均を上回っている。 ・ローマ字の読み書きについての理解が不十分である。	○「話す・聞く能力」「言語事項」では、ほぼ正答率が都の平均並みであり、概ね良好であると考える。 ○「書く能力」ではかなり高い正答率であるが、文章推敲力に弱点があり、今後さらに基本的な表現能力を身につけさせる指導の継続性が日常的に不可欠である。 ○「読む能力」では、自分の思いや考えを表現する学習の積み重ねを継続していく必要がある。 ○国語に関する関心・意欲・態度の数値がやや低い傾向がある。読書の日常化や日記指導、新聞指導などに力を入れていきたい。 ○全体的に記述式による問題形式の正答率が低い傾向があり、自分の考えや思いを、自分の言葉で表現していく学習に力を入れたい。